

【議案 3】コミュニティバス「くるリン」定時定路線の再編について

■「くるリン」定時定路線、デマンドバスの再編時期

○令和 2 年度・令和 4 年度は、定時定路線とデマンドを切り分けた再編方針

<背景>

- ・令和 2 年度では、定時定路線の大幅な再編を実施
- ・同時にデマンドバスを再編すると、利用者の混乱を招く恐れがあった
(デマンドバスでエリアを跨ぐ移動で乗継が必要など、利用の煩雑さが影響)

<対応>

- ・利用者の混乱を避けるため、定時定路線とデマンドバスを別々に再編
(定時定路線の再編実施後、効果測定(2年間)を踏まえてデマンドバスを再編)
- ・再編を切り分けることで、定時定路線、デマンドバスそれぞれの再編効果を検証可能

○定時定路線・デマンドバスの再編計画を統合・一体的な見直しへ

- ・2回の再編により、定時定路線・デマンドバスによる地域公共交通体系が形成
(デマンドバスの乗継が不要となり、両者の利用方法がシンプルに)
- ・定時定路線・デマンドバスの役割分担が明確化 ⇒ 一体的な取り組みの必要

タイプ	輸送力	役割
定時定路線	大	市内交通の軸として、大量輸送に対応
デマンドバス	小	定時定路線の補完として、 予約があった時にきめ細やかなニーズに対応

- ・今後は、現在の運行を踏襲しながら、定時定路線・デマンドバスの一体的な交通体系を維持していく必要

■「くるリン」定時定路線再編に向けた運行データ

○新型コロナウイルス感染症の影響

- ・定時定路線はコロナ禍における利用者数減少の影響が残る
⇒ 利用者数が回復傾向となる令和 4 年度以降のデータを参照する必要
- ・分析における傾向把握のため、5年間程度のデータが必要

- ・効果的な再編に向けて、十分なデータの蓄積と分析が必要